

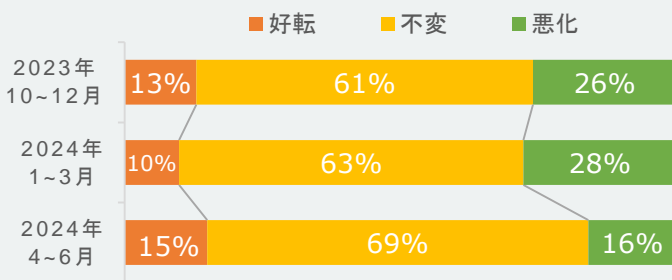
川崎商工会議所 中小企業景況調査 2024年1～3月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80 事業所 ●調査時期 2024年 2月16日～ 3月1日

1 業況について

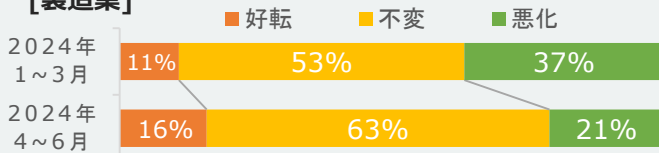
◆今期(1～3月)は悪化・不変が微増し、好転が微減となった。製造業・卸売業で悪化が3割以上となったほか、サービス業では好転が0となっている。依然として、原材料等の価格上昇に伴う経費増加の影響が続いていると予測される。

◆来期(4～6月)の予測では、好転・不変が増加となり、すべての業種で不変予測が6割以上を占めている。特に卸売業では8割近くが不変予測と回答している。一方で、すべての業種で悪化予測が減少となっており、慎重な見方ながらも、緩やかな持ち直しへの期待感が窺える。

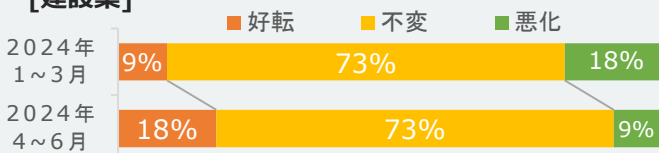


■ 業種別

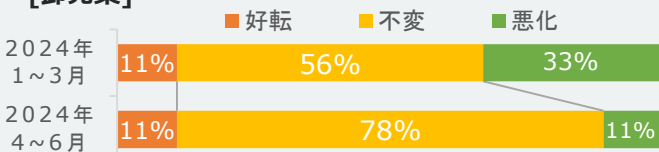
【製造業】



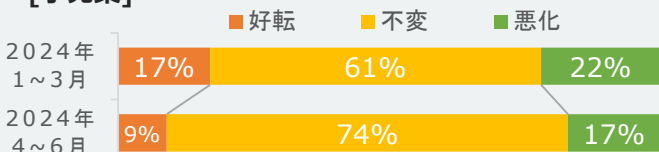
【建設業】



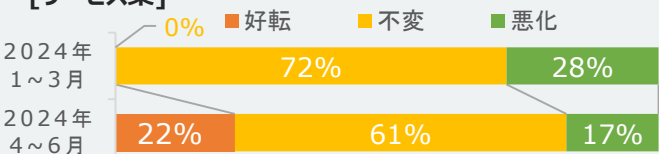
【卸売業】



【小売業】



【サービス業】



2 設備投資について

[今期(2024年1月～3月)]

実施した：2.5% 実施していない：97.5%

<実施内容>

設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器
20%	20%	40%	20%

[来期(2024年4月～6月)]

計画している：6% 計画していない：94%

<計画内容>

設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器
38%	25%	25%	13%

3 経営上の問題点 [複数回答]

- ◆前期に引き続き、原材料価格(仕入単価)の上昇がほとんどの業種において1位となっている。また、需要の停滞を挙げる業種が増加している(前期は製造業・卸売業・小売業)。物価の高騰等の影響が窺える。
- ◆建設業では人材関連の問題点が多く挙がるなど、人手不足が浮き彫りになっている。

【製造業】

1位	・原材料価格の上昇 ・需要の停滞	47%
2位	熟練技術者の確保難	32%
3位	・製品(加工)単価の低下・上昇難 ・従業員の確保難	26%

【建設業】

1位	材料価格の上昇	45%
2位	・材料費・人件費以外の経費の増加 ・従業員の確保難 ・熟練技術者の確保難 ・下請業者の確保難	27%

【卸売業】

1位	仕入単価の上昇	67%
2位	・販売単価の低下・上昇難 ・需要の停滞	33%
3位	・人件費以外の経費の増加 ・代金回収の悪化	22%

【小売業】

1位	消費者ニーズの変化への対応	39%
2位	需要の停滞	35%
3位	販売単価の低下・上昇難	30%

【サービス業】

1位	・人件費以外の経費の増加 ・材料等仕入単価の上昇	44%
2位	人件費の増加	39%
3位	需要の停滞	22%